

平成27年度 キャリア教育推進地域事業推進校

研究テーマ

学校名：須崎市立安和小学校

夢や希望をもって努力し、意欲的に学び続ける児童の育成

1. 取組内容

キャリア教育3本柱（学力向上・基本的生活習慣の確立・社会性の育成）

（1）学力向上

キャリア教育視点での授業改善

①本校は複式教育の研究を継続して行っている。その具体的な取り組みとして「一人学び」「とも学び」があるが、それにはリーダーの育成、児童どうしの協力体制が不可欠である。間接指導の際に自分たちの力で自主的に学び合う力はキャリア教育の「基礎的汎用的能力」とつながると考え、複式学年でない単式学年も「一人学び」「とも学び」を1時間の授業の中に位置づけている。

◎具体的な取り組み

○一人学びの工夫

児童が主体的に学ぶようになるためには、学び方を知り、自分の考えや意見をしっかり持つことが大切であると考え、次のような点に留意してきた。

- ・課題設定や提示の工夫（問題意識、目的意識、相手意識を持たせる）
- ・「一人学び」をするときの約束を守る。（時間内に、だまって、ていねいに）
- ・既習学習を振り返る手立て（ノート指導、提示物、ヒントカードなど）
- ・自分の考え、友だちの考えをわかりやすくまとめるノート指導
- ・ノートやホワイトボードに自分の考えを書く。

○とも学びの工夫

自力解決だけでなく、間接指導時に「とも学び」を位置付けることにより、お互いの考えを伝え合う力をのばし、さらに考えが深まるように話し合いを進めた。

- ・相手にわかりやすく発表する。
- ・自分の考えと同じところ、違うところを比べる。
- ・考えを修正したり、付け加えたりしながら考えを確かめる。
- ・友だちのよい考えから、自分の思いや考えを深める。
- ・リーダーカードの活用

○授業の終末には、ふりかえりの時間を持つようにした。

②研究授業の持ち方

○安和の授業スタンダード（めあて→見通し→一人学び→とも学び→まとめ→ふりかえり）を基本にして、指導案にはキャリア視点を明確にして行っている。

○全教員が年に1度行い、それ以外に公開授業を1度行い、教員どうしが学び合える環境を作っている。（研究授業：算数科 公開授業：国語科）

③家庭学習の確立

○家庭学習アンケートを実施し、集計したものを家庭に配布し、家庭と連携して学習が定着できるように取り組んでいる。

○一人で学習する力を身に付けるために、参考になる家庭学習（自主学習）のノートを掲示し、全校で自主学習週間を設けるなどして自主学習を奨励している。

○授業での学びを家庭学習とリンクさせ家庭学習が授業の学習内容の定着に役立つようにしている。

④基礎基本の充実

○帯タイムを活用し、視写・言葉のきまり・読解ドリル・漢字プリント等、曜日を決めて毎日継

続して行うことで、児童に国語や算数の基礎的学力をつける手立てにしている。

○月1回の全校算数(プリント)は、全教職員が児童に関わることで、児童に無理なくたくさんの復習問題にあたらせることができる。また、全児童が集まることで互いに刺激を受け、意欲的に学習に取り組むことができている。

○学習クラブの活用(算数・国語)

インターネットから、「基礎」「応用」の問題を検索し、それぞれの児童の特性に応じてプリントを印刷し、授業や家庭学習、加力学習に利用している。

(2) 基本的生活習慣の確立

①生活点検(年に2回)

H25 5月・11月

H26 6月・11月

H27 5月・9月

生活点検実施に合わせて生活リズムについての保健指導を行ったり、目標の設定を行ったり、学級懇談では保護者に生活リズムの大切さを知らせ、協力を促した。課題は就寝時刻の遅さと朝食の内容である。保護者にも知らせていくが、児童自身に知識として教えていく必要性を強く感じ、食育授業を行っている。

②食育講座(年に1回)外部講師を招聘

*昨年度はこれに加えてPTA講演会でも行った。

*食育に加え、生活リズムの話も触れるようにする。

(低学年)食べ物の働きを知って何でも食べよう

ねらい(食べ物は働きによって3つのグループに分かれることを理解する)

(好き嫌いしないでなんでも食べようとする意欲をもつ)

(高学年)すくすく育つために大切なことを考える(生活リズム+運動の重要性)

ねらい(体をよりよく発育させるには調和のとれた食事、適度な運動、休養睡眠が必要であることを理解する)

③保健便りで保護者へ随時知らせる。

★寝る時刻を守れた割合を棒グラフにして啓発。十分な睡眠をとることが児童にとってどんなメリットがあるか解説。ゲームについても受け身の脳を作る危険性について触れ、かわりに読書を進めている。

★PTA講演会の後には、保護者の感想を入れながら、朝食には「ごはん・味噌汁」をとることを記載した保健便りも出された。

④歯科指導

歯科検診に合わせて、歯磨き指導を歯科衛生士さんが丁寧に行っている。

また、口腔写真を低学年が毎年撮り、むし歯予防に役立てている。

2学期には授業時間に歯科指導を計画し、児童に意識づけを行っている。



歯科検診

1年生



PTA講演会(食育)

(3) 社会性の育成

小規模校であることを逆手にとって豊かな体験活動を仕組み、個人が集団に埋没することがないよう一人一人が主体性を持って取り組まざるを得ないような環境を設定し、上級生がスポットライトを浴び自尊感情を育む場を多く持つようにしてきた。また、様々な人々とコミュニケーションを図りお互いを認め合い協力していこうとする態度を育てるようにしていった。

(主に学校行事や学級活動、クラブ活動、委員会活動、児童会活動などの特別活動・総合的な学習の時間
生活科・社会科・国語科・道徳等)

① 縦割り班活動

本校は6年生をリーダーとする4つの縦割り班を作り、毎日の清掃が時間内にきちんと行われるように、リーダーが内容や役割分担など計画し、日々下級生を指導している。6年生は毎日班日誌を活用し、メンバーの仕事内容や反省を書き下級生に伝えるようにしている。月末の児童集会では班長から「全体の反省」「頑張っている児童」が発表され、班員からは「班長の評価」を伝える時間も設けている。そんな日々の活動から、下級生は自分の班長に親しみを持ち、上級生は下級生を可愛がるような言動が見られるようになっていく。

1週目の児童朝会 (8:15～8:30) 1. 歌 2. 月目標の反省 3. 月目標の発表 4. 先生の話	4週目の児童集会 (8:40～9:25) 1. 校長先生の話 2. そうじ総会 3. 学級の発表 4. 委員会から 5. 学級から
--	---

児童集会 (そうじ総会) の流れ

- しせい 今からそうじ総会を始めます。れい はじめましょう。
- はじめに1班からそうじの反省を発表して下さい。
1班は立って下さい。はい。
私たちの班の担当は でした。
(全体の反省)
(個人別の反省) して下さい。はい。
1班はすわってください。
- 次に班員から班長さんへ言いたいことを3分間でまとめて下さい。
(班ごとに輪になって班長さんを抜きにして話し合う。上級生がまとめて書く。) やめて下さい。(まだ終わっていない班は「待って下さい。」という) 後30秒のばします。
やめて下さい。
1班から発表して下さい。
「～して下さい。 これからも続けてください。」「はい」
- 児童会から
- 先生から
- これでそうじ総会を終わります。しせい、れい、終わりました。

*集団下校

地区別でも縦割り班を作り、児童は毎日16:30に集団下校をしている。下級生の保護者は下校時まで学校が預かってくれる点と下校時に一斉に児童全員が下校する安心感があり、数年前より継続して取り組んでいる。

②クラブ活動

本校のクラブ活動は、まず児童の興味関心のある内容をアンケートで調べ、その中から地域の方を講師に招いて一緒に活動できるものを年に4回計画し行っている。昨年の茶道には、地域の方たちがたくさん来校して教えていただき、最後の挨拶では「全員が自分の言葉で今日のクラブについて語ってくれた」とお褒めの言葉をいただいた。元気創造課の方たちに鍋焼きラーメン作りを教えていただいた際には、自分たちの町づくりへの思いを知り児童にとって貴重な時間となった。今年は地域の方からグランドゴルフ、卓球、蕎麦づくり、和菓子づくりを教えていただくクラブを計画している。



元気創造課の方たちが、鍋焼きラーメンの作り方を教えてくれています。
地域を活性化させたい気持ちを熱く語ってくれました。
鍋焼きラーメンおいしかったです。



地域の方が、グランドゴルフの講師として来ていただきました。
ルールの説明、パットの振り方など指導していただき実際にゲームを楽しみました。

③米作り活動（田植え・稲刈り・収穫祭）

毎年、全校で地域の田んぼを借りて米作りを行っている。そこで収穫したもち米は「安和文化祭り」という地域のお祭りで上級生が販売し、収穫にちなんだ創作劇を児童が披露している。丁寧な客接待は毎年好評で、感じよく対応でき、コミュニケーション力を培うよい機会となっている。また、収穫祭の劇は6年生が毎年班の話し合いから自作の台本を作成し、休み時間を中心にして練習を重ね、衣装も作って本番に臨んでいる。地元の観客からは「安和に生まれてよかった。」と感心の声を昨年いただいた。



④総合的な学習の時間

毎年、3年生は地域の産業ということで、地域の方から聞き取り学習を進めている。昨年は竹虎さんから虎斑竹について学び、今年はポンカン農家をしている保護者から文旦づくりについて学習することができた。4・5年生は今年は福祉活動が中心で「高齢者体験・車いす体験」を行っている。6年生は南海大地震の聞き取り調査や外国文化を学ぶ学習を計画している。



文旦づくりについて聞き取ったことを、模造紙にまとめ、校内に掲示していました。今はインターネットで幅広く販売していることを詳しく書いていました。

⑤夏の野外活動

PTAを中心に活動を計画実行している夏の野外活動は今年始まったばかり。「水遊び」「飯盒炊爨」「きもだめし」。子どもたちは楽しい経験ができていたが、何より保護者の方々が皆で協力し合って準備や後始末まで楽しくできたこともよかったことの一つである。



⑥交流（介護施設・安和保育園・婦人会・読み聞かせボランティア）

学校近くの介護施設の交流を毎年行っている。年によって歌や演奏を披露し、お年寄りとの触れ合いに時間をとるようにしている。保育園児とは生活科で交流をしたり、上級生が職場体験を行うなどして継続して交流している。婦人会は昔遊びの講師として来ていただき、低学年が花を一緒に植える時間も毎年設けている。また、行事ではいつも婦人会の方に炊き出しを行ってもらっている。また、読み聞かせボランティアの2人には毎週木曜日に朝読書の時間に来ていただいている。いろんな分野の本を用意していただき児童はとても楽しみにしている。



読み聞かせ



防災キャンプ炊き出し



昔遊び「おじゃみ」



介護施設との交流

2. 成果

○全国学力・学習状況調査結果

本年度の全国学力・学習状況調査の結果は、国語・算数ともにA問題については、全国よりも数値が高く、国語のB問題は、82.2%であった。この同じ6年生の3年生からの標準学力調査の経年変化を見てみると、国語については全国よりも3.8%低い時期もあった。

国語の学力の中で、様々な情報から内容を読み取り、設問に合った文章で表現する力はずぐには育成することはできない。ましてや上記の6年生は低学年から自己表現が得意とは言えない児童が多かったが、全国学力調査のB問題で8割以上をとることができるようになったのは、もちろん今までの地道な加力指導の成果ともいえるが、複式授業形態「一人学び」「とも学び」も学力をつけるうえで大事な要因であったと思う。

特に、自分の考えを相手に伝える力は授業を通して培われたものであり、受け身ではなく自分から進んで周りに働きかけるリーダー学習は、児童にとってとてもよい環境であっただろう。また、黒板にシラバス掲示することは、本時の授業の流れが児童に分かり、どの児童も分かりやすくなる手立てであり、ユニバーサルデザインの授業ともいえる。

○学校評価「学校が楽しい」「授業がよくわかる」の項目が100%である。

○キャリア形成アンケート

「自分にはよいところがある」の項目が前年の2.00から2.57に上がっている。

児童にとって視覚支援があり、児童どうしの助け合いが仕組まれる「一人学び」「とも学び」の形態は分かりやすい授業といえる。また、地域の教育力が高く学校への協力は惜しまない方がほとんどである。多くの方と触れ合う中で思いやりの心や豊かな自尊感情が育ってきている。人数が少ないからこそ、どの児童もリーダーの役割を持たせることができ、集会の場で司会や代表挨拶を多く経験させることができる。中学校に上がった先輩児童の活躍を見て改めて、小規模校の良さを実感する。これからも、児童自身が立案し実施せざるを得ない行事に取り組みさせることで、児童に基礎的汎用的能力を身につけさせていきたい。

3. 課題とその改善策

○多様な体験活動の持ち方について

多様な体験活動を「児童が自分を見つめなおすきっかけ」「自分の将来を考えるきっかけ」にするために事前指導、事後指導のポイントを学校全体で確認し合っていなかった行事があった。体験活動の事前指導・事後指導についてキャリア視点で見直し、年度途中であるが、ワークシートを提案し各学級が実施できるようにしていきたい。

○個別の対応について

児童によって課題が違うので、依然の児童より少しでも伸びている点は評価し、自信につなげていけるように、児童について報告し合う時間をとる。また、個別の支援計画を作成し継続して児童の伸びを見ていくようにする。

○今の教育活動とキャリア教育のつながり

今の取り組みがキャリア教育とどうつながっているかキャリア担当は職員会や校内研で発信し、職員全体で考える時間を持つようにする。